



# TextTree ver3.0

©2003-2013 tatsu

## 目次

### [1 概要](#)

#### [1.1 使用許諾と免責等](#)

### [2 使用方法](#)

#### [2.1 画面構成](#)

##### [2.1.1 ツールバー](#)

##### [2.1.2 ツリー表示部](#)

##### [2.1.3 テキスト表示部](#)

##### [2.1.4 テキスト以外のファイル表示について](#)

##### [2.1.5 ファイル検索](#)

#### [2.2 起動オプション](#)

### [3 ファイル\(F\)](#)

#### [3.1 ファイル操作](#)

### [4 編集\(E\)](#)

### [5 挿入\(I\)](#)

### [6 設定\(I\)](#)

#### [6.1 エディタ](#)

#### [6.2 ルート](#)

#### [6.3 実行](#)

#### [6.4 色文字](#)

#### [6.5 共通](#)

### [7 サポート\(H\)](#)

### [8 謝辞](#)

# 1 概要

ツリー表示と簡易エディタで、メモを書き溜めるソフトです。特定のフォルダ以下のテキストファイルを表示/編集します。

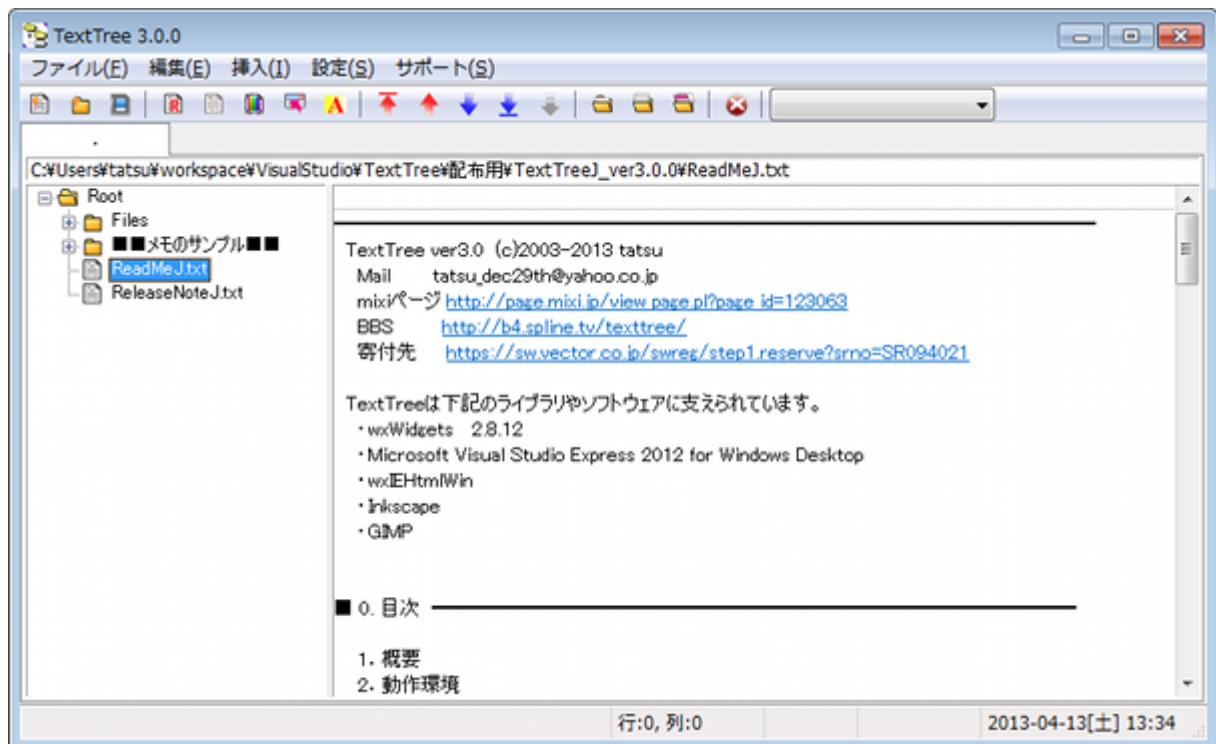
表示はエクスプローラのような階層構造でグループ分けが出来、編集は自動保存機能があるのでメモを書いていくことに集中できます。

自分が使っている目的は…

- ToDo 管理。細かい作業も忘れなくなりました。
- その日の作業開始時間と作業内容。後日、何をやっていたか思い出せます。
- バージョン単位、機能単位に分けた開発についての覚書。作った機能についての改修が必要になった時に、調べたことが参考になります。
- 頭の中にひらめいたことは、すぐに書き留めていきます。すると、どんどんアイデアが溜まっていきます。

以前、私は付箋ソフトでメモを取っていました。でも、付箋の数が増えると画面が付箋で埋め尽くされたり、どこに何を書いたか分からなくなってしまいました。

もっと管理しやすいメモソフトがあればいいな、と思ったので自分で作ることにしました。以前に比べ格段にメモを取りやすくなり、仕事も結構はかどっています。



---

## 1.1 使用許諾と免責等

本プログラムは無料で使用することができます。ただし、下記の3通りのいずれかを実施することで使用が可能になります。どの方法も、作者はそれが本当に実行されたかは分かりません。けれど、皆さんの感想が読める日を楽しみにしております。

### 【その1】

下記の店舗のいずれかに足を運んでみて、その感想をブログや Twitter / facebook / mixi などの SNS に書き込んでください。全部、名古屋の大須にあります。

※↓は、作者が TextTree の制作で名古屋は大須でお世話になっているお店ですね。店舗へのお問い合わせはご遠慮ください。まず通じませんし(笑)。がつつり開発の場所だったり、気分転換な場所だったり良いトコですよ。

セツ寺共同スタジオ	<a href="http://nanatsudera.org/">http://nanatsudera.org/</a>
フォト&アートギャラリー [ブシュケ]	<a href="http://gallerypsyche.web.fc2.com/">http://gallerypsyche.web.fc2.com/</a>
Theater Cafe	<a href="http://www.theatercafe.jp/">http://www.theatercafe.jp/</a>
バナナ焼きのパピリカ	<a href="http://バナナ焼き.com/papirika/banana_shaokinopapirika.html">http://バナナ焼き.com/papirika/banana_shaokinopapirika.html</a>

### 【その2】

下記の団体の公演を観てみて、その感想をブログや Twitter / facebook / mixi などの SNS に書き込んでください。名古屋を中心に活動されている方たちです。

※↓は、開発で煮詰まった頭を公演でリフレッシュしてくれた方たちですね。芝居や音楽にライブと、素敵な作品とそれを作っている人たちに接すると、背筋が伸びるものです。自分の好きな人達って応援したくなりませんか？

劇団アルクシアター	<a href="http://www.alk-walk.com/theater/">http://www.alk-walk.com/theater/</a>
少年王者館	<a href="http://www.oujakan.jp/">http://www.oujakan.jp/</a>

### 【その3】

TextTree を使った感想を、ブログや、Twitter / facebook / mixi などの SNS に書き込んでください。Web で見かける TextTree の感想は嬉しいものです。もちろん批判的な内容でも OK です。どうぞよろしくお願いします。

---

#### その他の使用上の注意について

- 本プログラムを使用して生じた損害等について、作者は何も保証する義務を負いません。
- 本プログラムを改造することはできません。

#### 配布について

- 本プログラムを著作権者の許可無しに、営利目的で配布することはできません。
- 本プログラムを非営利目的で配布する際には、著作権者の許可は要りませんが、配布時のトラブルで生じた損害について著作権者は何も保証する義務を負いません。
- 本プログラムを非営利目的で配布する際には、アーカイブの内容を一切変更してはいけません。
- 書籍等の収録の場合には事前に連絡をお願いします。

## 2 使用方法

TextTree が起動している場合の、一般的な操作方法を示します。

編集するテキストグループを「③タブ」で選択します。※<sup>1</sup>



編集するテキストを「④ツリー表示」から選択します。※<sup>2</sup>



テキストを「⑤テキスト表示」で確認/編集します。※<sup>3</sup>



「①メニュー」からテキストファイルをセーブします。オートセーブ設定時には自動で保存されます。※<sup>4</sup>

※1: タブは、設定(O) → 設定(O) で表示されるダイアログで増やすことができます。

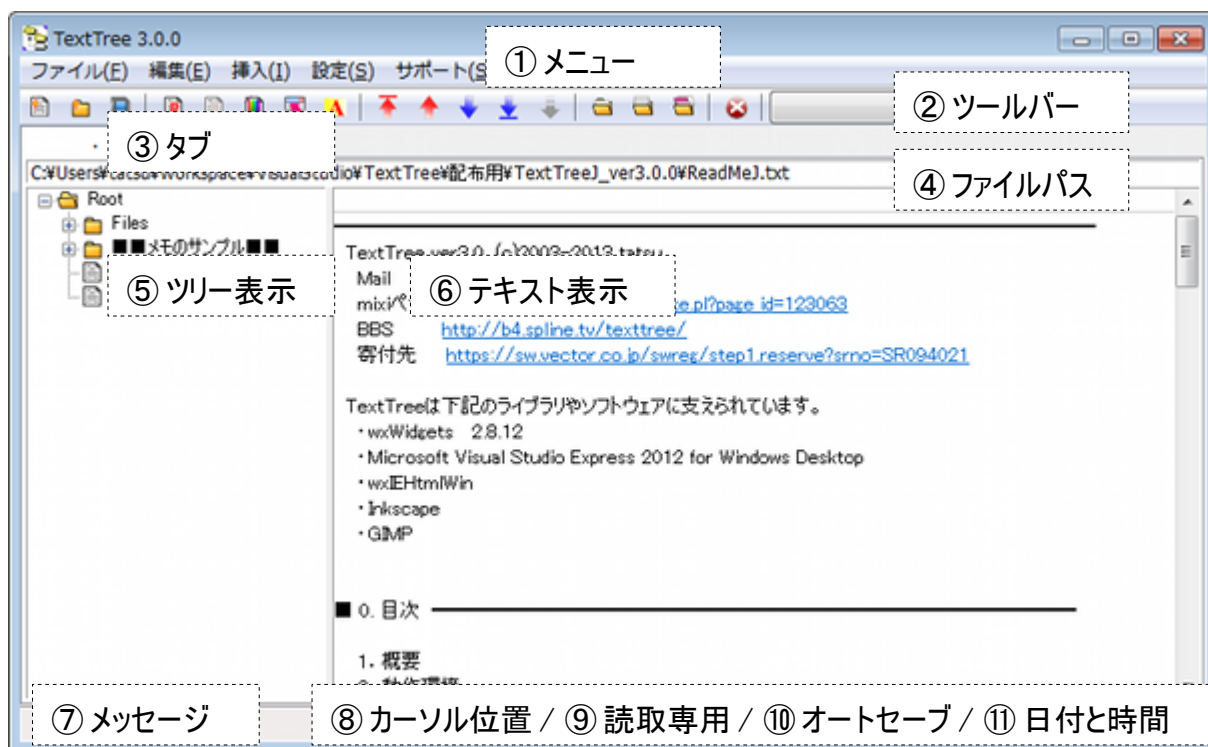
※2: テキストが存在していなければ、メニューのファイル(F)→テキスト(N)から作成します。

※3: テキストはフォルダ単位でグループ分けしておくと、後々の管理が楽になります。

※4: オートセーブは、ファイル(F)→オートセーブ(A)と選択してください。

### 2.1 画面構成

TextTree.exe を実行すると、下図のウィンドウが表示されます。



①	メニュー	TextTree をメニューを選択し操作します。
②	ツールバー	TextTree をボタンで操作します。
③	タブ	編集するテキストのグループを選択します。 右クリックすると、オプションダイアログの「ルート」タブを開きます。
④	ファイルパス	現在編集中のファイルパスを表示します。
⑤	ツリー表示	テキストをフォルダに分けて管理します。
⑥	テキスト表示	ファイルを表示/編集します。 フォルダ選択時は、ファイル検索画面になります。 画像ファイルの編集はできません。
⑦	メッセージ	操作した状況を表示します。
⑧	カーソル位置	カーソルの位置を、行(L)と列(C)で表示します。
⑨	読み取り	読み取り専用ファイルは「読み取り」と表示します。
⑩	オートセーブ	オートセーブ時に「オートセーブ」と表示します。
⑪	日付と時間	現在の、日付と時間を表示します。

## 2.1.1 ツールバー

TextTree の機能の幾つかは、画面上部のツールバーにあるアイコンをクリックすると使用できます。



ボタンをクリックすることで動作する機能は下記の通りです。

1. 新規作成テキスト作成



2. 新規フォルダ作成

3. 保存

(セパレータ)

4. 読み取り専用



5. 書き込み可能

6. 画像貼り付け

7. 常設ファイル

8. ラベル色の変更

(セパレータ)



9. 先頭へ

10. 上へ

11. 下へ

12. 最後へ

13. クリア

(セパレータ)

14. 開く



15. バックアップ

16. レストア

(セパレータ)

17. 実行パス選択



18. 削除

---

## 2.1.2 ツリー表示部

ファイルやフォルダを操作します。

### 1. アイテム複数選択

ツリー表示エリアのファイルやフォルダは Shift キー や Ctrl キー を押しながらクリックすることで、複数選択できます。

### 2. アイテム D&D

ツリー表示エリアのファイルやフォルダを選択してドラッグ & ドロップすると、選択したファイルやフォルダを移動できます。

### 3. テキスト表示エリアへのキー操作移動

ツリー操作中に Ctrl + → を入力することで、キーボードからの入力をテキスト表示エリアへ移動できます。

### 4. ファイルコピー

Ctrl キーを押しながらドラッグすると、ファイルをコピーすることができます。

### 5. 常設ファイル

ファイルアイテムを選択して、ツールバーから「常設ファイル」をクリックすると、TextTree とは別のウィンドウで表示され、編集できるようになります。

### 6. ラベル色の変更

アイテムを選択して、ツールバーから「ラベル色の変更」をクリックすると、ラベルの背景色と文字色を設定できます。

## 2.1.3 テキスト表示部

テキストファイルを編集します。

### 1. 段下げ

テキストを複数行選択して、Tab を入力すると選択した行の先頭に、まとめて Tab を入力できます。

テキストを複数行選択して、Shift + Tab を入力すると選択した行の先頭から、まとめて Tab(または Tab 文字だけのスペース)を削除できます。

### 2. ハイパーリンク

http:// から始まる URL を入力して、その個所をダブルクリックするとブラウザが開きその URL へジャンプします。

<http://www.vector.co.jp/>

mailto: から始まるメールアドレスを入力して、その個所をダブルクリックすると新規作成メールが起動します。

[mailto:tatsu\\_dec29th@yahoo.co.jp](mailto:tatsu_dec29th@yahoo.co.jp)

### 3. ファイル D&D

テキスト表示エリアにファイルをドラッグ & ドロップすると、そのファイルのファイルパスを入力できます。

### 4. テキスト D&D



---

テキスト表示エリアの文字列を選択してドラッグ&ドロップすると、選択した文字列を移動できます。

5. ツリー表示エリアへのキー操作移動

テキスト編集集中に **Ctrl + ←** を入力することで、キーボードからの入力をツリー表示エリアへ移動できます。

6. テキスト単位のキー操作移動

テキスト編集集中に **Ctrl + ↑(↓)** を入力することで、空行を区切りとしたテキスト毎にカーソルを移動できます。

下記は表編集のみの機能です。拡張子が CSV/TSV の場合は表編集するファイルとして扱います。

1. セル単位のキー操作移動

編集集中に **Ctrl + 矢印キー** を入力することで、空のセルを区切りとしたセル毎にカーソルを移動出来ます。



2. 行を挿入します。



3. 列を挿入します。



4. 行を削除します。



5. 列を削除します。

☐ **自動リサイズ**    6. チェックを入れると、表の幅と高さを自動で調節します。

下記はリッチテキスト編集時のみの機能です。拡張子が RTF の場合はリッチテキストとして扱います。



1. 太字をクリックすると、選択文字列を太字にします。



2. 斜体をクリックすると、選択文字列を斜体にします。



3. 下線をクリックすると、選択文字列に下線を引きます。



4. 取り消し線をクリックすると、選択文字列に取り消し線を引きます。








5. 文字色をクリックして色を選択すると、選択文字列を着色します。









6. マーカーをクリックして色を選択すると、選択文字列にマーカを引きます。

---

下記は MHT ファイル表示時、またはルートに URL を指定した際の機能です。

-  1. 戻るをクリックすると、表示履歴を1つ戻ります。
-  2. 進むをクリックすると、表示履歴を1つ進みます。
-  3. ホームをクリックすると、最初の URL へ移動します。
-  4. ホームをクリックすると、最初の URL へ移動します。
-  5. ホームをクリックすると、最初の URL へ移動します。

下記は TextTreeTag ファイル編集時の機能です。設定ダイアログで、拡張子が TTT の編集を有効にすると編集できます。

-  1. 矢印をクリックすると、タグ選択モードにします。
-  2. タグをクリックすると、タグ作成モードにします。
-  3. コネクタをクリックすると、コネクタ作成モードにします。
-  4. Line をクリックすると、タグの枠とコネクタの色を選択できます。
-  5. Back をクリックすると、タグの背景色を選択できます。
-  6. 文字色をクリックすると、タグの文字色を選択できます。

## 2.1.4 テキスト以外のファイル表示について

PNG/BMP/JPEG/GIF の画像ファイル、MHT ファイル、PDF ファイルを選択すると、表示することができますが編集はできません。

## 2.1.5 ファイル検索

指定したフォルダ以下の、ファイルやフォルダを検索します。

指定したキーワードが、ファイル/フォルダ名か、ファイル内テキストに含まれるものを検索します。半角スペースで区切ることで、複数のキーワードを全て含む検索ができます。

検索キーワードを何も入力しない場合は、指定したフォルダ内のファイル/フォルダを表示します。

1. 「キーワード」には、検索するキーワードを入力します。
  - 「ファイル内のテキスト」にチェックを入れると、ファイルに含まれるテキストを検索します。
  - 「ファイルやフォルダ名」にチェックを入れると、ファイル名やフォルダ名から検索します。
  - 「検索結果から再検索」にチェックをいれると、前回の検索結果から絞り込んで検索することができます。
  - 「サブフォルダ内も検索」にチェックをいれると、サブフォルダ内のファイルも検索対象とします。
  - 「検索開始」では、設定した検索キーワードと検索範囲から検索します。
2. 「検索」では、検索開始と検索結果の確認、検索項目の選択、をします。
  - 検索された項目を選択すると、そのファイルの内容が検索画面の下に表示されます。
  - 「次を検索」では、ファイル内に見つけた検索文字列の次を検索します。
  - 「編集開始」では、検索された選択項目が、ツリー部で選択されます。

## 2.2 起動オプション

TextTree.exe にオプションを付けて実行することができます。

オプションは前に指定したものから順に設定されます。

-d "..."	TextTree.exe を実行するディレクトリを"..."で指定します。  例. -d "D:¥Program Files¥TextTree"
-i "..."	TextTree を実行時に読み込む設定ファイルの場所を"..."で指定します。  例. -i "D:¥Program Files¥TextTree"
-h "..."	アイコン化⇄アクティブ化 を切り替える、ホットキーを設定します。 ホットキーとして指定するキー（CTRL、SHIFT、ALT と UP、DOWN、LEFT、RIGHT、A-Z、0-9 の組合せ）を半角スペースで区切って指定します。  例. -h "CTRL ALT UP"
-NoDirState	フォルダの開閉状態、フォルダ内のファイルの順序を覚えておくファイル「.TextTree」を生成しません。
-PdfClose "..."	PDF ファイルを移動する時、ファイルを閉じるのを待ってから移動しないと移動に失敗します。その待ち時間を ms で設定します。初期値は 300 です。  例. -PdfClose "300"

## 3 ファイル(F)

テキストファイルに関連したメニューです。

	テキスト(N)	Ctrl-N
	フォルダ(D)	Ctrl-D
	ファイル操作(O)	▶
	セーブ(S)	Ctrl-S
<input checked="" type="checkbox"/>	オートセーブ(A)	
	最新の状態に更新(U)	F5
	印刷(P)	Ctrl-P
	終了(X)	Alt-X

### 1. テキスト(N)

現在選択されているフォルダへ新規テキストを作成します。

作成するファイルの名前を省略すると、初回保存時にファイル名を自動で決定します。

---

2. フォルダ(D)

現在選択されているフォルダへ新規フォルダを作成します。

3. ファイル操作

ファイル进行操作するメニューを表示します。

4. セーブ(S)

現在編集中のテキストファイルをセーブします。セーブせずに別のテキストファイルを選択すると、下図のダイアログが表示され、セーブするかどうかを聞いてきます。



5. オートセーブ(A)

他のテキストファイルを選択したり、TextTreeを終了した時に、ダイアログを表示せずに自動でセーブします。

6. 最新の状態に更新(U)

メニューを選択した時点の状態を、テキストツリーに反映します。

7. 印刷(P)

印刷用の notepad.exe を起動します。

8. 終了(X)

TextTreeを終了します。

### 3.1 ファイル操作

ファイル操作に関連したメニューです。

読み取り専用(R)	Ctrl-Shift-R
書き込み可(W)	Ctrl-Shift-W
名前の変更(N)	F2
ファイル切り取り(X)	Ctrl-Shift-X
ファイルコピー(C)	Ctrl-Shift-C
ファイル貼り付け(V)	Ctrl-Shift-V
常設ファイルに追加 ラベル色を変更	
先頭へ(T)	Ctrl-Shift-PageUp
上へ(U)	Ctrl-Shift-Up
下へ(D)	Ctrl-Shift-Down
最後へ(L)	Ctrl-Shift-PageDown
クリア(C)	Ctrl-Shift-C
開く(O)	Ctrl-O
バックアップ(B)	Ctrl-Shift-B
リストア(S)	Ctrl-Shift-S
削除(E)	Del

1. 読み取り専用(R)  
選択したテキストファイルを、読み取り専用にします。フォルダを選択した場合は、そのフォルダ以下の全てのファイルやフォルダが読み取り専用になります。
2. 読み取り専用(R)  
選択したテキストファイルを、読み取り専用にします。フォルダを選択した場合は、そのフォルダ以下の全てのファイルやフォルダが読み取り専用になります。
3. 書き込み可(W)  
選択したテキストファイルを、書き込み可にします。フォルダを選択した場合は、そのフォルダ以下の全てのファイルやフォルダが書き込み可になります。
4. 名前の変更(N)  
テキストツリーにある選択中のテキスト/フォルダ名を変更します。  
ただし、読み取り専用状態のファイルでは、拡張子を含めたファイル名の変更はできません。
5. ファイル切り取り(X)  
選択中のファイルをクリップボードへ移動します。
6. ファイルコピー(C)

---

選択中のファイルをクリップボードへコピーします。

7. ファイル貼り付け(V)

クリップボードにあるファイルを貼り付けます。

8. 常設ファイルに追加

ツリー部で選択しているアイテムを、常設ファイルとして表示します。

9. ラベル色を変更

ツリー部で選択しているアイテムの背景色と文字列を編集します。

10. 先頭へ(T)

ツリー部で選択しているアイテムの順番を、先頭に移動する事ができます。

11. 上へ(U)

ツリー部で選択しているアイテムの順番を、1つ上に移動する事ができます。

12. 下へ(D)

ツリー部で選択しているアイテムの順番を、1つ下に移動する事ができます。

13. 最後へ(L)

ツリー部で選択しているアイテムの順番を、最後に移動する事ができます。

14. クリア(C)

ツリー部で、変更したアイテムの順番を初期状態に戻します。

15. バックアップ(B)

選択しているファイルのコピーを、バックアップフォルダにコピーしていきます。下書きやメモを編集していて、ある時点でのファイルを残しておきたい場合に使ってください。

16. レストア(S)

バックアップとしてコピーしたファイルを選択した状態でボタンをクリックすると、バックアップファイルを元のファイルに上書きコピーします。

17. 開く(O)

ファイルは関連付けされているアプリケーションで開きます。フォルダはエクスプローラで開きます。

18. 削除(E)

現在選択されているファイルやフォルダをごみ箱へ移動します。

---

## 4 編集(E)

テキストツリーやテキストファイルの編集に関連したメニューです。

元に戻す(Z)	Ctrl-Z
再び入力(Y)	Ctrl-Y
切り取り(X)	Ctrl-X
コピー(C)	Ctrl-C
貼り付け(P)	Ctrl-V
画像貼り付け(I)	
全て選択(A)	Ctrl-A
指定行へ移動(J)	Ctrl-J
テキスト検索(F)	Ctrl-F
テキスト置換(R)	Ctrl-R

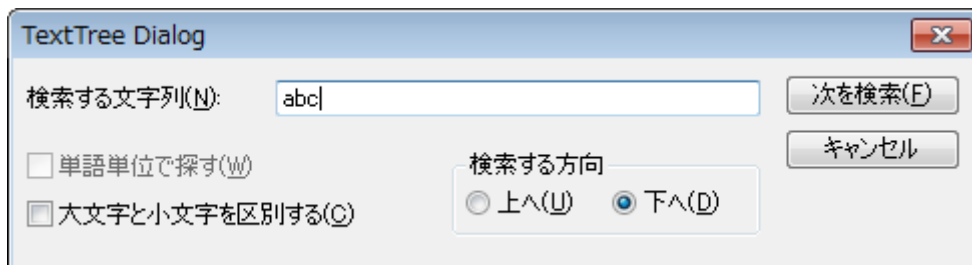
1. 元に戻す(Z)  
直前の編集操作を無効にします。
2. 再び入力(Y)  
元に戻す(Z)で無効になった操作を、再び入力します。
3. 切り取り(X)  
選択した文字列を切り取り、クリップボードへコピーします。
4. コピー(C)  
選択した文字列をコピーし、クリップボードへコピーします。
5. 貼り付け(V)  
クリップボードへコピーした文字列を、貼り付けます。
6. 画像貼り付け(I)  
クリップボードへコピーした画像を、ファイル保存します。
7. 全て選択(A)  
編集中の文字列を全て選択します。
8. 指定行へ移動(J)  
指定した行へカーソルを移動します。



## 9. テキスト検索(F)

編集中のテキストファイルから指定した文字列を探します。

下図のダイアログに検索したい文字列を入力し、「次を検索(F)」をクリックすると、編集中のテキストファイルの中から入力した文字列を探します。



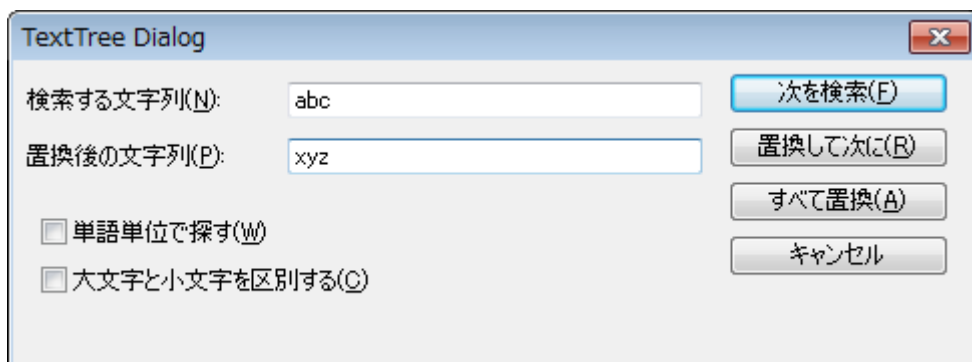
## 10. テキスト置換(R)

編集中のテキストファイルから指定した文字列を置換します。

下図のダイアログに置換したい文字列を入力し、「次を検索(F)」の動作は検索と同じです。

「置換して次に(R)」をクリックすると、1回だけ置換して、次に置換できる箇所を検索します。

「すべて置換(A)」をクリックすると、テキストの終端までの置換を全ての実行します。



# 5 挿入(I)

編集中のテキストファイルに特定の文字列を挿入します。

日付(D)	Alt-D
時間(T)	Alt-T
↑ (U)	Alt-Up
↓ (W)	Alt-Down
→(R)	Alt-Right
←(L)	Alt-Left
文字列(S)	Alt-S
ファイルから(T)	Alt-F

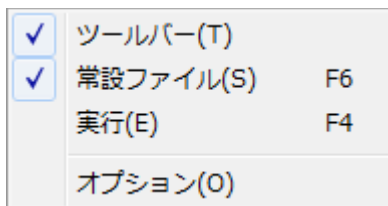
1. 日付(D)  
編集中のテキストファイルに yyyy-mm-dd の形式で日付を挿入します。
2. 時間(T)  
編集中のテキストファイルに hh-mm-ss の形式で時間を挿入します。
3. ↑ (U)  
編集中のテキストファイルに ↑ を挿入します。
4. ↓ (W)  
編集中のテキストファイルに ↓ を挿入します。
5. →(R)  
編集中のテキストファイルに → を挿入します。
6. ←(L)  
編集中のテキストファイルに ← を挿入します。
7. 文字列(S)  
編集中のテキストファイルに、設定ダイアログで登録した文字列を挿入します。[%から始まるキーワード](#)を使用することができます。
8. ファイルから(T)  
編集中のテキストファイルに、他のテキストの内容を挿入します。文字コードの異なるテキストファイルは挿入することができません。

%date	今日の日付に置き換えられます。
%time	今の時間に置き換えられます。
%year	今年の西暦に置き換えられます。

%month %0month	今月の月に置き換えられます。0month は常に 2 桁で置き換えます。
%day %0day	今日の日に置き換えられます。0day は常に 2 桁で置き換えます。
%hour %0hour	今の時間に置き換えられます。0hour は常に 2 桁で置き換えます。
%min %0min	今の分に置き換えられます。0min は常に 2 桁で置き換えます。
%sec %0sec	今の秒に置き換えられます。0sec は常に 2 桁で置き換えます。
%f	現在編集中のファイルパスに置き換えられます。
%d	現在編集中のファイルフォルダへのファイルパスに置き換えられます。
%r	現在編集中のファイルが存在するルートフォルダへのファイルパスに置き換えられます。
%s	現在選択中の文字列に置き換えられます。
%exec	TextTree を起動した時間に置き換えられます。

## 6 設定(I)

TextTree の設定に関連したメニューです。



### 1. ツールバー

TextTree のツールバーの表示 ON/OFF を切り替えます。

### 2. 常設ファイル(S)

常設ファイル全体の表示 ON/OFF を切り替えます。

### 3. 実行(E)

設定の「実行」に設定したファイルパスを選択し実行します。

### 4. オプション(O)

TextTree 全般の動作を設定します。

## 6.1 エディタ

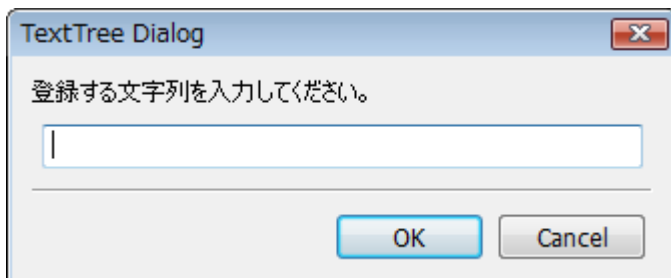
「エディタ」タブでは、テキストを表示するフォント等を設定します。



1. 『フォント/タブ』では、フォント、タブ幅、編集エリアの左右の空白幅、および行間を設定します。
2. 『ファイルの種類』では、編集するファイルの拡張子と文字コードを選択します。拡張子を複数登録する場合は、txt,html のようにカンマで区切ってください。下記の拡張子を除いて、全てテキストファイルとして編集します。

BMP/PNG	画像ファイルとして表示します。
MHT	IE で保存された WEB ページとして表示します。
PDF	PDF ファイルとして表示します。

3. 『保存形式』では、新規に作成するファイルの保存形式を選択することができます。ただし、半角英数字のみのファイルは保存形式に左右されず同じファイルとなります。
4. 『挿入する文字列』では、挿入(I)の設定します。[新規]ボタンで、新規に挿入する文字列を追加します。



「時間の挿入で秒は挿入しない」にチェックを入れると、秒を挿入しません。

「色文字も挿入する」にチェックを入れると、色文字タブで設定した文字列も、挿入文字列として選択できるようになり

---

ます。

「日付の区切りを/にする」にチェックを入れると、日付を 2011/10/10 のように / を区切り文字として挿入します。

5. 『その他』では、TextTree のその他設定をします。

「カーソルのある行に下線を表示しない」にチェックを入れると、現在のカーソル行を示す下線を表示しません。

「カーソルのある行の下線色を指定する」にチェックを入れると、現在のカーソル行を示す下線の色を指定できます。

「再編集時にカーソル位置を復元する」にチェックを入れると、TextTree 実行中は編集したテキストのカーソルを位置を覚えておき、再度同じファイルを選択した際に前回のカーソル位置を復元します。

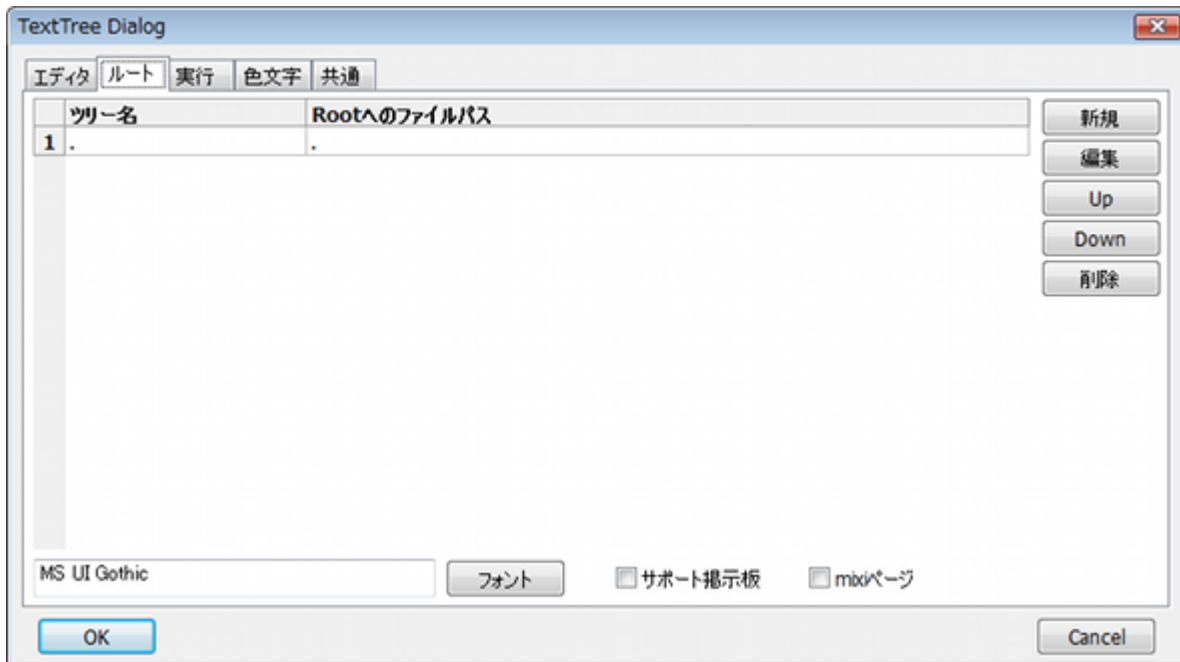
「再編集時にカーソル位置を復元する」にチェックを入れると、テキスト編集集中に矢印キーの上下で行を移動しても、カーソルの列位置をできるだけ変更しないように移動します。

「検索時の背景色を指定する」にチェックを入れると、テキスト検索時に見つかった文字列の背景色を設定できます。

「改行時に自動でインデントする」にチェックを入れると、Enter で改行したときに改行前のタブ文字とスペース文字をコピーして挿入します。

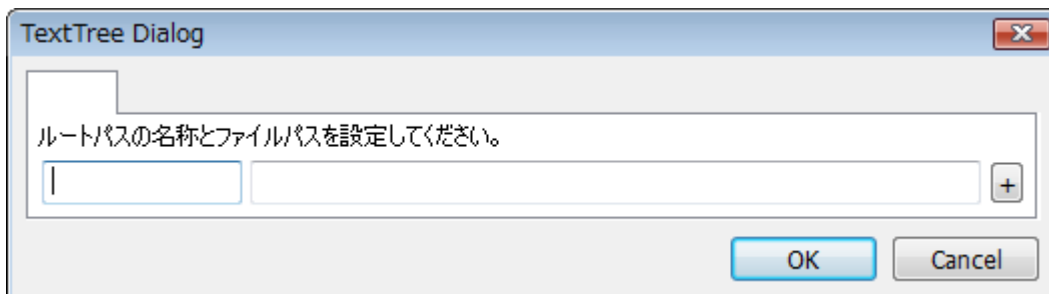
## 6.2 ルート

「ルート」タブでは、テキストをグループで管理するための基となるフォルダへのファイルパスを設定します。



[新規]ボタンで、新規に追加する Root フォルダを設定します。

ダイアログの[+]ボタンをクリックすると、フォルダを選択できます。



※Vista では Root フォルダとして C:\Documents and Settings を設定することはできません。

ルートには、URL を指定することもできます。頻繁に参照するイントラネットや、ニュースサイトなどを登録して参照できます。

「サポート掲示板」と「mixi ページ」のチェックを入れることで、それぞれのサイトをタブに追加することができます。

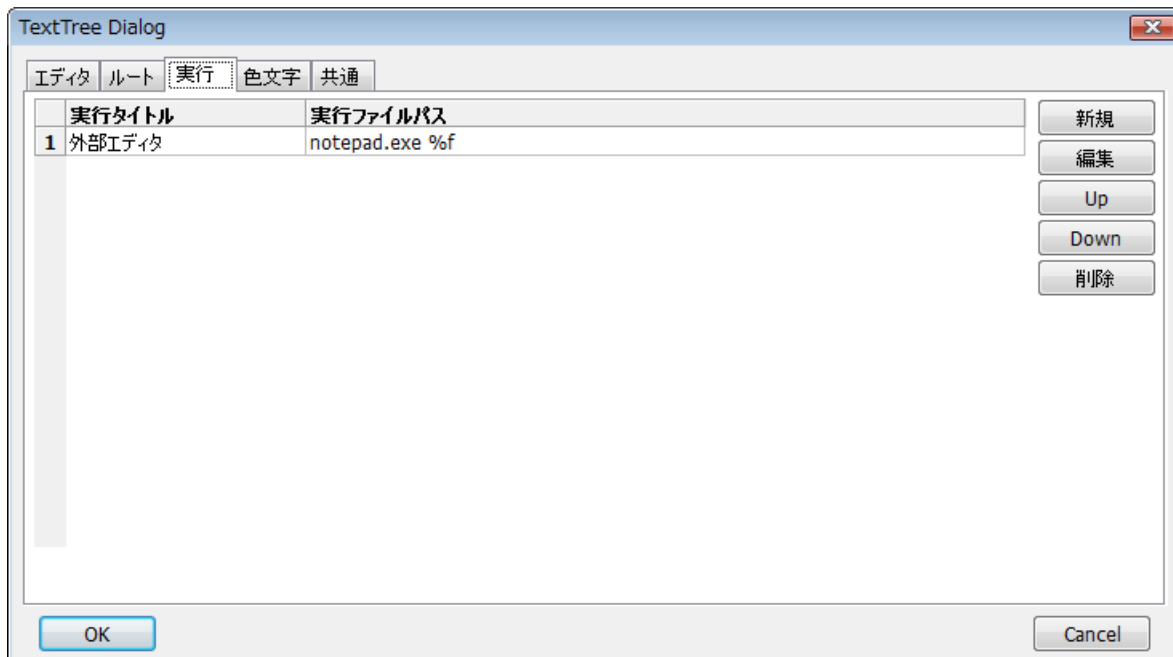
mixi ページ      [http://page.mixi.jp/view\\_page.pl?page\\_id=123063](http://page.mixi.jp/view_page.pl?page_id=123063)

BBS              <http://b4.spline.tv/texttree/>

フォントボタンをクリックすると、ツリー部のフォントを設定することができます。

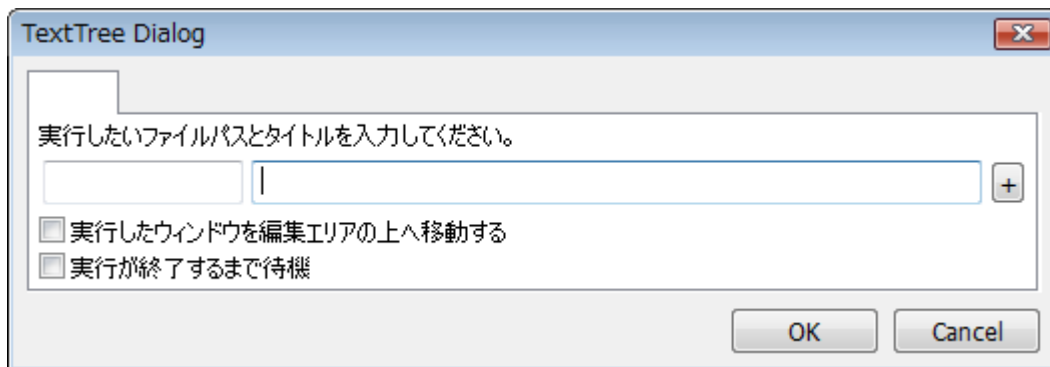
## 6.3 実行

「実行」タブでは、メニューの「実行」で実行したいファイルパスを設定します。



[新規]ボタンで、新規に実行するファイルパスを追加します。

ダイアログの[+]ボタンをクリックすると、ファイルを選択できます。



※ファイルパスの文字列にスペースを含める場合は、ファイルパスを「」（ダブルクォーテーション）で括ってください。

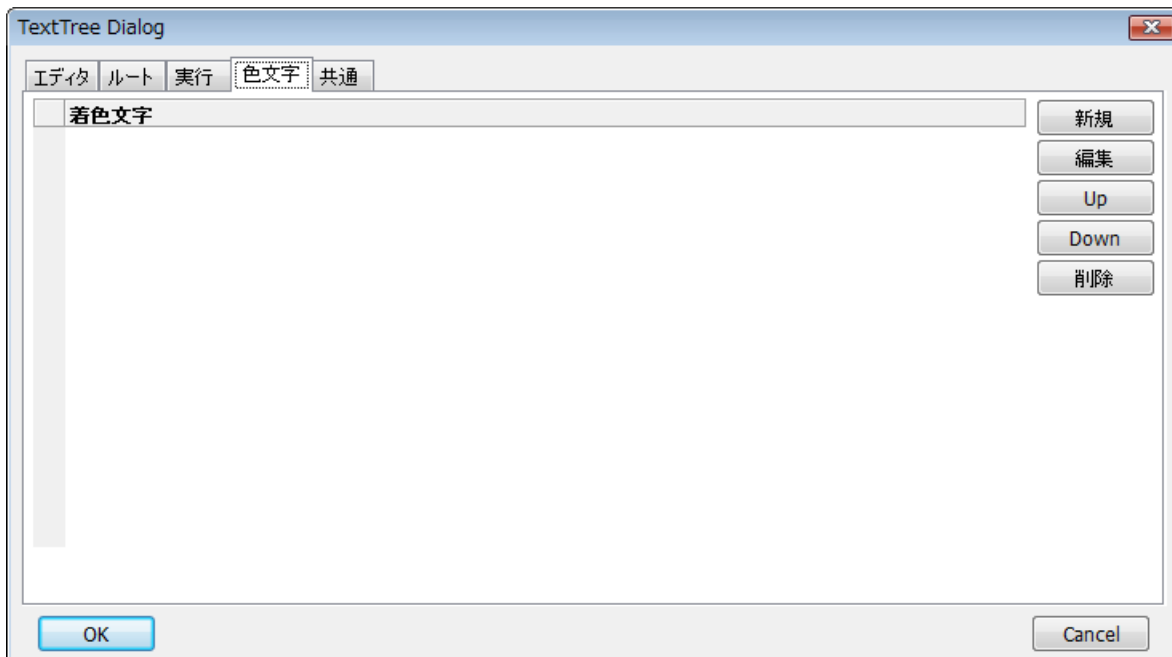
このファイルパス中には%から始まるキーワードを設定できます。詳細は「挿入(I)」を参照してください。

実行する状態をチェックボックスで設定します。

- 「実行したウィンドウを編集エリアの上へ移動する」にチェックを入れると、実行したウィンドウを編集エリアと同じサイズ/位置へ移動します。
- 「実行が終了するまで待機」にチェックを入れると、実行したファイルが終了するまで TextTree が操作できません。

## 6.4 色文字

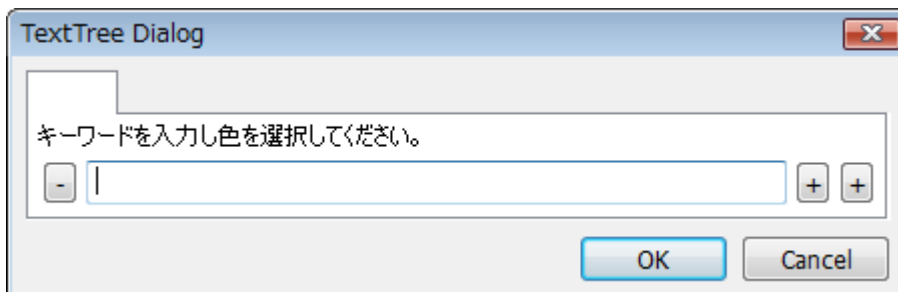
「色文字」タブでは、テキスト表示の際に着色したいキーワードと色を設定します。



[新規]ボタンで、新規に着色するキーワードを追加します。

ダイアログの[+]ボタンをクリックすると、文字色と背景色を選択できます。

ダイアログの[-]ボタンをクリックすると、設定した色を解除します。



キーワードには正規表現をつかうことも出来ます。



## 6.5 共通

「共通」タブでは、TextTree の共通動作を設定します。



1. 「共通」では、TextTree の共通動作を選択します。

「新規テキストは名前を自動決定」にチェックを入れると、テキストファイル名を初回保存時に決定します。ファイル名はテキストの 1 行目から自動で決定されます。

「背景色を指定する」にチェックを入れると、指定の背景色を設定できます。

「画像表示時にリサイズする」にチェックを入れると、全体が表示されるように大きい画像をリサイズします。

「マウス移動でフォーカスを移動する」にチェックを入れると、ツリー表示部とテキスト表示部にマウスカーソルを合わせるだけで、フォーカスを移動します。

「自動でバックアップする」にチェックを入れると、バックアップフォルダが存在する場合に、保存する毎にバックアップファイルを作成します。

2. 「※下記は再起動後に有効」では、TextTree の次回起動時に有効になる動作を設定します。

「タスクトレイにアイコンを表示する」にチェックを入れると、最小化時にタスクバーにアイコンを表示しなくなります。また、タスクトレイのアイコンをクリック、右クリックで TextTree の 表示/非表示 を切り替えます。

「二重に起動しない」にチェックを入れると、既に TextTree が起動している場合は、2 つ目の TextTree を起動しません

「タブ幅をそろえる」にチェックを入れると、タブの幅を統一することができます。チェックを外すと自動で幅が調節されます。

「右にツリーを表示」にチェックを入れると、ツリー部とテキスト表示部の左右を入れ替えます。

「最前面に表示する」にチェックを入れると、TextTree ウィンドウを全面に表示します。

「TextTreeTag 編集」にチェックを入れると、拡張子が TTT のファイル編集モードを有効にします。(開発途中のテスト機能です。)

## 7 サポート(H)

ヘルプやサポート掲示板、バージョン情報を表示します。

ヘルプ(H)	F1
サポート掲示板(B)	
mixiページ(P)	
作者へメール(M)	
最新版を確認(D)	
寄付のお願い(D)	
About(A)	

1. ヘルプ(H)

この Manual.html ファイルを表示します。

2. サポート掲示板(B)

TextTree のサポート掲示板を表示します。

不具合を見つけた場合は、本メニューか下記リンクで表示される サポート掲示板にて書き込んでいただければ、非常に助かります。

また、感想なども掲示板に書き込んでいただけると今後の開発の参考になりますので、よろしくお願いします。

[TextTree サポート掲示板](#)

3. mixi ページ(P)

mixi ページをブラウザで開きます。

4. 作者へメール(M)

作者へのメールを書きます。

5. 最新版を確認(D)

TextTree のダウンロードサイトを WEB ブラウザで開きます。

## 6. 寄付のお願い(D)

TextTree への寄付先を表示します。

TextTreeは無料で使うことができます。しかしながら、TextTreeを開発しつづけていくためにはPC、OS、開発ソフトをそろえる必要があります。

もし、しばらく使ってみて ¥1,000 以上の価値が生まれたなと思ったとき、寄付をお願いできませんか？

TextTree 寄付先

寄付いただけた方で希望される方には、下記の3つ

申込日 例) 2006/11/25

お申込番号 例) CLCKFAK8025

名前(本名でなくても構いません) 例)tatsu

をメールで教えていただければ、感謝のお礼として次のバージョンの Manual.pdf に掲載させていただきます。

## 7. About(A)

バージョン情報を、下図ダイアログで表示します。



---

## 8 謝辞

TextTree を作るために、ライブラリや開発ツールを提供して頂いた方。

開発で行き詰まったときに、参照したブログやサイトを作っていた方。

TextTree をダウンロードして使っていた方。

TextTree を雑誌に載せていただいた方。

TextTree の開発に寄付していただいた下記の方。

- kotoe 様
- NS工房 様
- やす 様
- 城丸 様
- 他数名の方

TextTree の開発で煮詰まった頭をほぐしてくれた方、気分を変えて開発する場所を提供してくれた方。

そして、TextTree を制作するきっかけを作ってくれた人。

全ての方に感謝します。10 年以上、少しずつ続けられて良かったです。

これからもよろしくおねがいします。

ありがとうございました。m(\_\_ \_\_)m